

# 第14回情報プロフェッショナル シンポジウム INFOPRO2017

## 特別講演

# 自然言語処理と知的創造

期日：2017年**11月30日**(木) 16:20～17:50

会場：国立研究開発法人科学技術振興機構

東京本部別館(東京都千代田区五番町7 K's五番町)

日本アイ・ビー・エムで自然言語処理研究に従事。  
クイズ番組で人間の解答者に挑戦する質問応答システム Watson  
開発プロジェクトに参画された武田浩一氏の講演です。



## 講師 武田浩一氏

名古屋大学 大学院情報学研究科  
価値創造研究センター 教授

自然言語処理はコンピュータの普及につれてテキスト入力支援、情報検索、機械翻訳、テキストマイニング、質問応答といった応用分野を拡大してきた。一方で WWW や SNS といった音声・画像などの非構造情報を含む大規模な情報源が集積した結果、機械学習手法によるテキスト処理タスクの高精度化と部品化が進み、多彩なサービスが生まれるようになった。この進展の先にはテキスト情報を利用した知的創造の支援が予想される。本講演ではこのような素技術と情報源の組合せによる知的創造について展望したい。

略歴：1983-2017年まで日本アイ・ビー・エム株式会社東京基礎研究所にて自然言語処理研究に従事。インターネット向け機械翻訳ツール(翻訳の王様)、電子カルテからの知識発見ツール、テキスト分析技術の製品化に貢献。2007年から2011年までクイズ番組で人間の解答者に挑戦する質問応答システム Watson 開発プロジェクトに参画。

2017年4月より現職。博士(情報学) 京都大学。

受賞：平成24年度文部科学大臣表彰 科学技術賞(開発部門) 他